

会 議 録				
会議名		令和元年度第2回住宅審議会		
事務局		まちづくり計画部市営住宅課 内線 (3412)		
開催日時		令和元年9月30日(月)	午後1時から午後3時まで	
開催場所		会議室棟1階 第1会議室		
出席者	委員	5人(別紙のとおり)		
	その他	人()		
	事務局	6人(島田課長、内山総括副主幹、他4名)		
公開の可否		可	不可	一部不 可
公開不可・一部不可の場合は、その理由		傍聴者数		
会議次第		なし		
会議次第		<p>議題</p> <p>(1)「相模原市市営住宅ストック総合活用兼長寿命化計画(改定)答申案」について</p> <p>(2)令和元年11月募集(案)について(諮問・答申)</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、 は事務局の発言。)

議題(1)

「相模原市市営住宅ストック総合活用兼長寿命化計画(改定)(答申案)」について事務局より、計画の全体像を分かりやすくした概要版にて答申案の説明を行い、全員の承認を得て原案のとおり答申することとなった。

【主な質疑】

- 借上げ住宅の返還について、10年延長してきたとのことだが、全部で何戸あるのか。
14団地301戸ある。令和5年度から返還が始まる。
- 借上げ住宅が立地しているのは、合併前の旧相模原市内がほとんどか。
そのとおり。借上げ住宅は、バブル期後の地価上昇に伴って、土地取得が厳しい財政状況のもと、公営住宅の地域偏在をなくすため、導入された制度である。
- 借上げ住宅の空き家はないか。
ほぼ入居している状態である。
- 返還予定の住宅の対応はどうするのか。
3年前に募集停止をかけ、居住者には住み替えを促す。
- 入居者に引越し費用は出すのか。
速やかな移転に向け検討しているところである。
人口や世帯が増えないという観点から、新しく市営住宅を建てず、従前からある住宅ストックの寿命を延ばすという考え方とした計画になっている。
市営住宅の長寿命化を図っていくという主旨は良いか。
~~ 異議なし ~~
- 市営住宅の入居者が退去の際に負担する項目にはどのようなものがあるか。
畳、ふすまが対象となっている。
- 市営住宅で名義人が亡くなった場合、入居の権利は同居している家族に承継されるのか。
配偶者などを対象に限定しているが、承継を認めている。
やはり借上げ住宅の入居者には、期間満了前に余裕を持って住替え措置をしていくしかないように思う。
年間の募集戸数を維持しながら、借上げ住宅は返還していく。長寿命化を図ることや今後の市営住宅のあり方などが主な主旨であるが、計画としては、これでよろしいか。
~~ 異議なし ~~

議題（２）

「令和元年１１月募集（案）」について

事務局より、諮問のあった令和元年11月市営住宅入居者募集の選考方法や判定基準及び募集する住宅等について説明を行い、全員の承認を得て原案のとおり答申することとなった。

【主な質疑】

- 佐野川住宅2DKは、5月募集では申し込みはなかったのか。
定期募集では申し込みがなく、その後常時募集として受付を行ったが、それでも申し込みはなかった。今回再度募集を行う。
- 佐野川住宅2DKの家賃はどのくらいか。
14,100円から27,600円の範囲で、世帯の収入に応じて決まる。
- 築年数はどのくらいか。
平成17年建築なので、築14年である。

相模原市住宅審議会委員出欠席状況

【令和元年度第2回住宅審議会】		令和元年9月30日(月)開催		
選出区分	所属	氏名	出欠席	備考
市内の公共的団体から推薦された者	市社会福祉協議会	熊谷 達男	出席	会長
	市民生委員児童委員協議会	齊藤 宮子	欠席	
	市民生委員児童委員協議会	佐賀 淳司	出席	
	市民生委員児童委員協議会	砂村 久三子	出席	
	市自治会連合会	竹田 幹夫	出席	
学識経験のある者	県宅地建物取引業協会	山田 隆	出席	職務代理